第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	保育所管理運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	030202	保育所管理運営事業・子育て支援充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	住民指導による子育て支援体制を構築し、子育て世帯の負担を軽減し支援するとともに子育て支援センターの利用促進を図る。						
成果指標	子育て支援センターの交流事業参加家庭数（延べ）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	家庭	-	700	700	700
		実績値		700	551		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度		
	事業費総額	決算 2,225千円	予算 1,273千円	見込 1,273千円	うち特定財源	決算 1,486千円	予算 500千円
計画期間	○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	地域福祉・子育て支援交付金を活用し、ファミリー・サポート・センター無料利用券交付事業を引き続き行った。 待機児童対策として吉川保育所0歳児保育室と子育て支援センターすきっぷの部屋を交換し、受入人数を増加させた。 老朽化に伴う修理を実施するとともに、乳児の睡眠時の安全を確保するための備品や保護者が子育て支援活動を行ったり相談を受ける場所の整備を図るための備品を購入した。						
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	ファミリー・サポート・センター事業の会員が増加したことにより、ファミリー・サポート・センター無料利用券交付事業の実績が、平成22年度の294,400円から平成23年度は425,350円と大幅に増加し、子育て世帯の負担軽減に役立てることができた。 老朽化している地域子育て支援センターの改修及び備品の整備をすることにより、安全かつ円滑に事業ができるとともに継続的な運営が期待でき子育て支援環境の充実を図ることができた。						
今年度の活動計画	ファミリー・サポート・センター事業の依頼会員数に比べ、援助会員の増は少ないので援助会員の確保が必要であり、そのため、引き続き広報や町ホームページ等で募集するとともに、地区福祉委員会等へも協力を行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	留守家庭児童育成室管理運営事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	030204	留守家庭児童育成室管理運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保護者が労働等のため、放課後、留守家庭になる小学校1学年から3学年の児童を入室させることにより、就労支援や子育て支援の充実を図る。						
成果指標	留守家庭児童育成室の入室児童数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	76	76	76
		実績値		73	70		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	11,686千円	予算	17,961千円	見込	17,500千円
	うち特定財源	決算	9,282千円	予算	8,309千円	見込	8,000千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	東ときわ台留守家庭児童育成室35人、東能勢留守家庭児童育成室30人、光風台留守家庭児童育成室30人、合計95人の入室児童の募集を行った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	東ときわ台留守家庭児童育成室33人、東能勢留守家庭児童育成室21人、光風台留守家庭児童育成室16人、合計70人の入室があり、保護者が安心して働ける環境づくりができた。						
今年度の活動計画	大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用し、留守家庭児童育成室の設置されていない吉川小学校の児童を東ときわ台留守家庭児童育成室に引き続き送迎する、留守家庭児童育成室児童安全送迎事業を行う。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	養育支援・家庭教育支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	100102	人権・地域教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	様々な社会的背景により子どもを取り巻く環境が著しく変化し、家庭の養育についての支援が必要となってきた。豊能町要保護児童対策地域協議会で組織する機関の連携を強化し、児童虐待未然防止のために支援を必要とする家庭への訪問等を行い、家庭の教育力の向上と児童・生徒等の健全育成を目的とする。						
成果指標	子育てアドバイザーの支援訪問家庭数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	家庭	-	60	60	60
		実績値		0	20		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,880千円	予算	3,105千円	見込	3,105千円	
	うち特定財源	決算	1,880千円	予算	3,105千円	見込	3,105千円	
	計画期間		0		0		0	
前年度の活動実績 (進捗状況)	町内2中学校と2小学校に家庭教育支援員を配置し、学校・保護者と連携不登校や集団生活に適應しにくい児童・生徒への支援を行った。養育支援を必要な家庭に対しては、機関連携して家庭訪問、保護者への面接指導等を行った。（養育支援の対応家庭数は、3家庭）							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	家庭教育支援員の配置により、担任教諭とは違う視点で児童・生徒に寄り添い見守りができ、本児童・生徒の学校での居場所が確保できるなどの効果があった。養育支援については、関係機関で連携しケース会議等を行うことで、家庭の生活環境の改善のための具体的な支援を行い、適切な養育環境が保たれるよう働きかけることができた。							
今年度の活動計画	これまでの養育支援・家庭教育支援を継続実施するとともに、要保護児童対策地域協議会実務者のための別冊ガイドライン（H24.6 大阪府福祉部子ども室）に基づき、生後4ヶ月～1才半までの乳幼児のいる家庭に対し家庭訪問等を実施し、子育てに関する情報提供や育児不安の軽減を図る。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	留守家庭児童育成室延長保育事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、ひとを大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	030204	人件費事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保護者の多様な就労形態に対応するため保育所保育時間(延長保育)と同様に午後7時までの延長保育を実施し就労を支援する。						
成果指標	延長保育の利用人数(延べ人数)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	600	1,270	1,270
		実績値		0	1,160		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	540千円	予算	1,417千円	見込	1,417千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		0		0		0
前年度の活動実績(進捗状況)	平成23年9月より、豊能町留守家庭児童育成室の保育時間を従前の午後6時までを午後7時までに延長し、保護者の就労支援のため子育て環境の充実を図った。9月～3月までの保育日数は145日、延長保育時間の利用延べ人数は、1,160人（7時までの延長保育申請は、8名。東能勢育成室。東ときわ台育成室）						
前年度の活動成果(どのような効果をもたらしたのか)	留守家庭児童育成室の保育時間延長により、保護者の就労支援の充実が図れた。						
今年度の活動計画	事業の継続実施。 長期休業中など長時間保育となる日については、地域ボランティア等を活用し保育内容を充実させる。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	健康保険課
事務事業名	乳幼児医療費助成拡大事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	030109	乳幼児医療費助成事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	小学一年生から六年生までの子どもに対し、入院の医療費の一部助成を行い、子育て世帯の医療費負担の軽減を図る。						
成果指標	乳幼児医療費の助成件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	136	136	136
		実績値		0	12		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	501千円	予算	5,000千円	見込	5,000千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	医療費助成の周知のため、広報紙・町ホームページに掲載するとともに窓口にチラシの設置、また、校長会に対してチラシ配布の協力依頼を行った。						
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	校長会に協力依頼を行った結果、吉川小学校・東ときわ台小学校・光風台小学校・東能勢小学校の全ての児童、919人に対してチラシの配布ができた。						
今年度の活動計画	新たに医療費助成の対象者になれる全ての児童に対してチラシを配布するとともに広報紙や町ホームページの掲載を継続して行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	妊婦健診公費拡充事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	040103	母子保健事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	妊婦健診にかかる経済的負担を軽減するため、健診費用の一部を助成します。(14回)						
成果指標	妊婦健康診査受診票の発行者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	85	85	85
		実績値		85	108		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	4,047千円	予算	4,712千円	見込	4,712千円	
	うち特定財源	決算	1,277千円	予算	2,025千円	見込	2,025千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	母子手帳交付時及び対象者の転入時に妊婦健康診査受診票を108人に発行した。							
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	妊婦健康診査受診票を発行し、妊婦健診受診者数がのべ622人であり、妊婦検診にかかる経済的負担が軽減できた。							
今年度の活動計画	今年度も引き続き母子手帳の発行時に配布し、事業の周知を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	母子保健事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	040103	母子保健事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	妊婦健診や乳幼児健診などを実施し、疾病の早期発見・治療を行います。また、健康相談や健康教室を実施し、育児不安の解消や虐待を防止します。						
成果指標	各種教室の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	250	250	250
		実績値		244	249		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	3,281千円		予算	3,625千円		見込	3,625千円	
	うち特定財源	決算	36千円		予算	320千円		見込	320千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績（進捗状況）	各種乳幼児健診（4か月→12回実施、1歳6か月→4回実施、2歳6か月→4回実施、3歳6か月→4回実施）・乳幼児健康相談（24回実施）・妊婦教室（16回実施）、母子栄養改善事業（2講座計12回）等を実施。									
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	妊婦健診や乳幼児健診などを実施し、疾病の早期発見・治療を行うことができた。また、健康相談や健康教室を実施し、育児不安の解消や虐待を防止できた。									
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施する。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	通園バス運行事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	100401	幼稚園運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	ひかり幼稚園に通園する吉川、ときわ台、東ときわ台、光風台5・6丁目に住居のある園児の通園の利便性を図るとともに安全に運行する。						
成果指標	通園バス（定員51人）の充足率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	90	90	90
		実績値		0	100		

4 事務事業の概要

事業の見直し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,492千円	予算	2,185千円	見込	2,185千円
	うち特定財源	決算	1,216千円	予算	1,440千円	見込	1,440千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	東ときわ台5丁目、東ときわ台9丁目、光風台6丁目、吉川中学校前、ときわ台駅前、吉川保育所付近にバス停を設け通園バスを運行した。 また、通園バスへの乗降を保護者に協力いただき、安全性を高めた。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	通園バスの利用が多く平成23年度は51名の利用があり、通園する園児の利便性を図ることができた。 また、保護者に協力をいただいたことにより事故もなく安全に運行することができた。						
今年度の活動計画	バス利用園児の増加に伴い通園バスを1便から2便に増やす。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	保育料支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
歳入費目	120101 120104 130107 130107	吉川保育所保育料 ふたば保育所保育料 ひかり幼稚園使用料 ふたば幼稚園使用料

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保護者の保育料負担の軽減を図るとともに就学前児童を持つ家庭の転入、若年世帯の多子出産を促す。						
成果指標	保育・教育内容の満足度		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	95	96	96
		実績値		93	100		

4 事務事業の概要

事業の見通し (歳入減額)			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	-8,947千円		予算	-10,943千円		見込	-12,000千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間		○		○		○			
前年度の活動実績 (進捗状況)	同一世帯で就学前児童が2人以上、保育所に入所または幼稚園に入園している場合は、第2子以降の保育料を無料にした。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	幼稚園で17名、保育所で49名、合計67名が保育料の無料の適用を受け、保護者の保育料軽減を図ることができた。									
今年度の活動計画	保育所に入所希望される方が増加することから、保育所児童の受入可能人員の上限を弾力運営できるように定める。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課（教育支援課）
事務事業名	幼稚園預かり保育事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	100401	人件費事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	仕事と子育ての両立など多様化する保育ニーズに対応し、子育て支援サービスの充実を図る。						
成果指標	預かり保育の利用者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	3,400	3,400	3,400
		実績値		0	4,449		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,680千円	予算	2,510千円	見込	2,510千円	
	うち特定財源	決算	2,680千円	予算	2,510千円	見込	2,510千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	ふたば幼稚園、ひかり幼稚園において、4・5歳児は4月から、3歳児は9月から、保育終了後から午後5時まで預かり保育を実施した。 事業実施にあたっては、大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用した。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	ふたば幼稚園で1,578人、ひかり幼稚園で2,871人、延べ4,449人の預かり保育の利用があり、女性の社会進出や仕事と子育ての両立など保育ニーズの多様化に応えることが出来た。 具体的な保育内容としては、水遊び・ゲーム遊び・絵具遊び・集団遊びなどをした。							
今年度の活動計画	今年度も大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用し、預かり保育を継続し保育内容の充実を図る。 今年度も昨年同様に水遊びやゲーム遊び・集団遊びなど工夫した保育内容を実施する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	幼稚園給食食育推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	01	幼児教育の推進
大事業名	100401	幼稚園運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	子どもの生活習慣（睡眠・食事）が身につけていなかったり、体力・持続力が低下してきている現状を踏まえ、幼稚園における給食を実施し、子どもたちの育ちのエネルギーの基礎となる「食」の充実を図る。また、食育を通して、全般的な子どもの育ちについての関心が高められるよう保護者に働きかけ、家庭における養育力・教育力の向上を目的とする。						
成果指標	バランスのとれた朝食を食べている園児の割合		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	60	65	70
		実績値		50	55		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,137千円	予算	748千円	見込	748千円	
	うち特定財源	決算	1,137千円	予算	748千円	見込	748千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	平成23年4月より、幼稚園においての給食を実施した。6月より給食配膳ボランティアを兼ねた給食試食会を実施、参加者対象にアンケートを行う。以降、給食配膳ボランティアは、申し込みにより継続して実施した。給食メニュー表とランチルームだよりを家庭に毎月配布しHPにも掲載する。12月には、「食育・給食に関するアンケート」を実施し取組みについての点検・評価を行った。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	幼稚園で実施する給食について、当初は偏食の有無や食事の量、味付け、食事にかかる時間など個人差もあり保護者の不安も聞かれたが、給食試食会等を実施することで解消できた。また、保護者に給食配膳のボランティアで協力を得ることができた。保護者からは、同年齢の子どもの食事の姿や給食ならではの食材を知ることができたなどの感想が多く寄せられ、子どもの育ちの基礎となる「食」への興味・関心を高めることができた。							
今年度の活動計画	パネル表示や絵本・紙芝居・食育ゲームなどを用いて、バランスのとれた食事やからだの育ちに必要な栄養について知らせ、毎日の食事についての関心を高める。町食育改善グループや食物栄養学科のある大学等と連携し、バランスのとれた朝食を食べている園児の割合、箸の使い方、咀嚼力など取組みの成果を数値化する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	02	学校教育の充実
大 事 業 名	100102	人権・地域教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	学校教育の充実のため、学校・家庭・地域の連携を推進するため、地域住民や保護者による学校支援活動を推進する。						
成果指標	学校教育が充実していると思う割合（「授業が楽しい、学校へ行くのが楽しい」と保護者が回答した割合を実績値とした）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	59	60	61
		実績値		57.3	84.7		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	939千円	予算	883千円	見込	883千円	
	うち特定財源	決算	584千円	予算	584千円	見込	584千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	学校支援コーディネーターを一校当たり平均37日配置し、学校家庭地域が協働した取組みの推進を行った。小・中学校への学校支援活動は、6小・中学校合わせて（学習支援207日、運動部活動支援125日、環境整備83日、安全見守り活動634日、学校行事への支援46日）合計延べ日数1,095日、平均1校当たり183日の支援活動を行っていただいた。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	学校支援コーディネーターを各小中学校に1名ずつ配置し、学校と地域の方をつなぐ役割を行っていただくことが定着した。学校支援ボランティアは、6小中学校合わせて総合計507人の登録があり、1校当たり平均85人の登録となった。学校と地域の方との協働の取組みがコーディネーターの方のネットワークの力により定着し、活動の内容が、学習支援から環境整備、さらには見守り活動等へ広がり、各学校の特色ある活動となってきている。							
今年度の活動計画	今年度も昨年度同様に学校支援コーディネーターの方を各小中学校に1名ずつ配置し、学校と地域との協働の取組み推進を行っていただく。また各保幼小中学校が、地域や保護者の意見を参考に学校、地域、家庭が連携しよりよい学校づくりが推進できるように、地域や保護者の方を委員として参加していただく協議会の開催を推進している。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	わくわく教室運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	02	学校教育の充実
大事業名	100102	学校教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町立小学校に通学している原則小学校4年生以上の児童のうち、保護者等が子どもを監護できにくい状況にある子どもに放課後の居場所と学習の場を提供し、確かな学力の育成を図る。						
成果指標	わくわく教室への参加児童数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,500	1,600	1,600
		実績値		0	10,682		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	3,936千円	予算	4,670千円	見込	4,670千円	
	うち特定財源	決算	3,936千円	予算	4,670千円	見込	4,670千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	4小学校での開催日数合計は、607日（1校当たり平均152日）開催することができた。活動した指導員は、137人の指導員の方が延べ2,577人の活動を行っていただいた。内容は、各校の工夫により様々であるが、例をあげると、「ペン習字」「パソコン教室」「理科遊び」「バドミントン」「卓球」「絵手紙」「ドッジボール」「科学遊び」「学習教室」など他所多様な活動を放課後や土曜日に行っていた。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	参加児童対象に行ったアンケート結果によると、「楽しかった74%、どちらかといえば楽しかった16%」と肯定的な意見が90%となった。また、3年生まで留守家庭育成室に通っていた児童が4年生以降にわくわく教室に参加し、学校で放課後活動を行った児童の割合は、100%から30%まで幅があるが、居場所の提供となったと考えることができる。児童や保護者からの意見として、もっと時間を延ばして実施してほしい（A校）という意見や「来年も参加しますか」の問いに90%が参加したい（B校）などがあつた。							
今年度の活動計画	今年度も、各小中学校に1名ずつ配置している学校支援コーディネーターに、わくわく教室の推進を依頼し、地域と学校との連携で推進できるようにしている。また、昨年度同様以上の実施できるように、実施開始日を早くした。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	学力向上事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	02	学校教育の充実
大事業名	100102	学校教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	中学校に教職経験者や大学生などを学習アドバイザーとして、テスト前や放課後に自主教室を開催し、学力向上を図る。また、府事業「使える英語プロジェクト事業」を実施し、授業改善及び家庭学習教材を作成することで、自学自主力の育成を図る。						
成果指標	放課後学習への参加生徒数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	650	700	750
		実績値		634	807		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算 2,046千円	予算 2,046千円	見込 2,046千円		
うち特定財源	決算 1,598千円	予算 1,598千円	見込 1,598千円			
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	両中学校で地域の方の協力のもと放課後に実施した自主学習を推進する「放課後まなび舎」事業では、平成23年度間で平均52日開催し、参加生徒延べ人数807人、指導協力者（教員を含む）延べ人数357人の実績となった。25人の地域の活動アドバイザーの協力のもと実施することができた。また、英語学習充実のため、東能勢小・中学校に教材教具（電子黒板、プロジェクター、指導用CD等）の整備を行った。さらには、外国人の方を小・中学校に配置し、授業のサポートを行っていた。					
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	学校支援コーディネーターを各小中学校に1名ずつ配置し、学校と地域の方をつなぐ役割を行っていただくことが定着し、期待より多くの方の協力をいただくことができた。特に中学校での放課後の自主学習活動推進の取組みが定着し、参加生徒数が前年度比較240人増加した。小学校においては、学校と地域の方との協働の取組みがコーディネーターの方のネットワークの力により定着してきている。					
今年度の活動計画	両中学校で「放課後まなび舎」事業を学生ボランティア等の協力により継続実施し、自主学習力育成の支援を行う。特に定期テスト前に実施し、主体的に学習する支援を行う。また、英語力向上に向け引き続き「使える英語プロジェクト事業」を受け、授業改善の取組みを推進する。今年度は、中間発表会を実施し、これまでの成果について協議をする場を設ける。					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所属	教育総務課
事務事業名	教職員人事権移譲事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施策	03	信頼される学校づくり
大事業名	100102	教職員事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目的	平成24年4月から大阪府教育委員会（以下「府教委」という。）より豊能町教育委員会（以下「町教委」という。）へ教職員人事権が移譲されることにより、豊能町への教職員の帰属意識を高め本町の特色ある学校づくりを目指す。						
成果指標	教職員人事権の移譲率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	0	100	100
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	決算		予算		見込	
事業費総額	17千円		410千円		410千円	
うち特定財源	0千円		2,040千円		2,040千円	
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	平成24年4月から府教委より町教委へ教職員人事権が移譲されるに際し、以下の主な活動を行った。平成24年4月からの移譲に向けた手続きを円滑に行うため、豊中市教育委員会内に人事権移譲チームを設け本町から職員1名派遣。大阪府豊能地区教職員人事協議会（以下「協議会」という。）の設置に向けた協議。府教委からの事務引継に伴う確認書の協議。平成25年度の教職員採用選考に向けた協議。臨時任用職員の任用事務手続（任用報告、社会保険等）の協議。平成24年度からの教職員研修の実施方法の協議。など					
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	協議会規約を議会の議決を得て締結するなど、平成24年4月からの人事権移譲に向けた準備を整えることができた。					
今年度の活動計画	平成24年4月より府教委より町教委へ教職員人事権が移譲され、今年度からの主なもの活動は下記のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月より協議会を発足する。 平成24年4月より町教委で小中学校教職員の任免、分限、懲戒を行う。 平成25年度豊能地区3市2町教職員採用選考事務を豊能地区3市2町と府教委の合同で実施する。 平成24年4月より本町教職員の研修について、新たに豊能地区3市2町の合同で実施する。 					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	青少年対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	04	青少年の健全育成
大事業名	100502	青少年対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	連合こども会育成会、青少年指導員等と連携し、各種青少年対策事業を実施することにより、青少年の健全育成を図る。						
成果指標	青少年健全育成事業の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	880	890	900
		実績値		870	1,298		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算 4,612千円	予算 2,795千円	見込 3,326千円		
うち特定財源	決算 2,120千円	予算 115千円	見込 115千円			
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>新成人の門出を祝福するために開催した成人式では、少子化が進み対象者は241名でしたが、当日は226名が式典に出席しました。</p> <p>また、青少年の健全育成のため、青少年指導員会が主催した「森と遊ぼう」では、62名の参加者が里山保全活動に取り組みました。</p> <p>さらに、音楽やダンスなど、日頃の活動発表の場の提供として開催したミュージックフェスタでは、250名もの参加があり、ユーベルホールで演技を行いました。</p> <p>町連合こども会では、ソフトボール大会、夏のキャンプ、秋のスポーツ大会、映画会と事業を展開し、延べ760名の参加者がありました。</p>					
前年度の活動成果 どのよつな効果をもたらしたのか	<p>青少年健全育成のための様々な事業を実施したことにより、子ども同士の交流や地域の指導者(大人)との世代間交流が図られ、青少年健全育成につながった。</p> <p>併せて、青少年指導員事業では、里山保全を契機に郷土愛や協同作業の中で仲間との連帯意識を養い、また、文化芸術にふれることで情操教育につながった。</p>					
今年度の活動計画	<p>青少年健全育成については、行政だけでなく、また、継続して行われなければならないものである。よつて、地域や各種団体と連携を図りながら、今後とも青少年の健全育成に努める。</p>					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	生涯学習推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	01	生涯学習の推進
大事業名	100501	生涯学習推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	各種生涯学習事業を開催することにより、生涯を通して学習できる機会を提供する。						
成果指標	自主的な活動の共催・後援名義申請数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	45	45	45
		実績値		41	32		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,703千円	予算	2,271千円	見込	2,271千円	
	うち特定財源	決算	45千円	予算	30千円	見込	30千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>住民の自発的な学習を促進するため、生涯学習に関する情報の提供や講演会を実施しました。1月には、町PTA研究大会と兼ねて、宮本延春氏をお招きし「オール1の落ちこぼれ、教師になる」と題して講演いただきました。</p> <p>また、2月には、大塚貢氏をお招きし「食で変えませんか、健康な心と体に」と題して講演いただきました。どちらの講演会も200名を超える方に参加いただきました。</p>							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	生涯学習事業は、直ちに効果が表れるものではありませんが、関係団体と連携協力しながら、様々な生涯学習メニューを提供したことで、今後の住民の自発的な生涯学習活動が期待できる。							
今年度の活動計画	住民が学習活動によって得た成果を、まちづくり活動やボランティア活動など様々な地域活動に活かすことができるよう支援していきます。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	図書館
事務事業名	図書館運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	01	生涯学習の推進
大事業名	100504	図書館運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	図書館サービスの充実を図り、質を高めるとともに全域サービスの充実を図る。また、子育て支援の推進及び高齢利用者サービスの充実を図る。						
成果指標	町民一人あたりの図書貸出冊数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	冊	-	14	14	14
		実績値		14	12		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	17,611千円	予算	9,146千円	見込	1,400千円	
	うち特定財源	決算	12,904千円	予算	58千円	見込	0千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	住民ニーズに合った図書やサービスの提供を行っている。 赤ちゃんと保護者が一緒に絵本を楽しむ「おはなしたまご」、幼児・児童を対象とした「ものがたりのじかん」等を実施している。 また、図書館内において写真や絵画をはじめとする様々な作品を展示してしている。 自主事業 のべ68回、貸出冊数 281,322冊 登録者数 28,572人							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	親子で読書に親しむ機会を提供し、子どもの読書に慣れ親しむ環境を提供できた。 また、各種講座・講演会等を通して、子どもから高齢者まで幅広く読書活動の推進を図ることができた。							
今年度の活動計画	読書に係る様々な活動を通して、今後も生活に根差した情報を発信していく。具体的には、利用者ニーズの把握と情報発信の充実、読書機会の促進及び家庭への啓発、郷土資料館との連携を行いたい。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	ユーベルホール
事務事業名	ユーベルホール管理運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	02	文化・芸術の振興
大事業名	100505	ユーベルホール管理運営事業 / ユーベルホール連携協力事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町の文化芸術の拠点として、コンサートや講演会を開催し、文化振興を図る。						
成果指標	ユーベルホールの来館者（利用者）数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	20,000	20,000	未定
		実績値		15,116	21,621		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度		
	事業費総額	決算 35,456千円	予算 37,709千円	見込 未定	うち特定財源	決算 8,951千円	予算 35,910千円
計画期間	○		○		未定		
前年度の活動実績 (進捗状況)	教育・文化・芸術の振興に関する協定を締結している「NPO法人フィルハーモニック・ウインズ大阪（オオサカン）」と連携し、定期的にホール・ロビーコンサートを実施した。（18回） また、「まちの音楽家」登録制度を設け、住民によるロビーコンサートを定期的に実施した。（12回） 貸館事業では、231回の貸館を行った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	オオサカンの連携協力のもと、安価で気軽に楽しめるコンサートを実施したことにより、音楽鑑賞の機会を提供することができた。 また、まちの音楽家によるロビーコンサートは、音楽発表の機会と音楽を通じた住民交流の場を提供することができ、ユーベルホールを拠点とした文化芸術の振興に寄与した。						
今年度の活動計画	ユーベルホールを文化芸術の拠点とし、ユーベル寄席など住民のニーズにあわせた催しや、オオサカンと連携して子どもから大人までが楽しめるホールコンサートなどを実施していく。 併せて、まちの音楽家のロビーコンサートを実施し、音楽を通じた住民交流の場を提供していく。 ただし、築19年を経過し施設が非常に老朽化しており、今後の存続には相当な額での維持補修費用が見込まれるため、その費用の捻出が危惧される。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	郷土資料館管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	02	文化・芸術の振興
大事業名	100506	郷土資料館管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	郷土資料館を拠点に、文化愛護意識の啓発を推進します。また、資料の収集や陳列を工夫し、身近に来館してもらえるよう取り組む。						
成果指標	郷土資料館の来館者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,250	1,300	1,350
		実績値		1,201	775		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	54千円	予算	269千円	見込	269千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績（進捗状況）	現在、資料館で展示している生活文化財や石の文化財（写真）に加え、新たに西方寺（高山）より寄贈いただいた掛軸を展示した。						
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	昨年度と比較して来館者数は減少したものの、新たな来館者を迎えることができた。						
今年度の活動計画	継続した取り組みとして、資料のデータベース化に取り組む。また、施設の老朽化に伴い、遊休施設を活用した移転改装計画を検討したい。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	社会体育振興事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	03	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
大事業名	100601	社会体育振興事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	生涯にわたりスポーツをより身近なものに感じてもらえるよう、スポーツ推進委員と連携し、各種スポーツイベントを実施し、そのきっかけづくりに寄与する。						
成果指標	スポーツ推進委員会主催のスポーツイベント参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	660	670	680
		実績値		631	366		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,328千円	予算	3,374千円	見込	3,374千円	
	うち特定財源	決算	398千円	予算	900千円	見込	900千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	スポーツ推進委員会が開発したオリジナルのストーンで、誰もが簡単に楽しめる「フロアカーリング」大会は、過去最高の参加者数となり、回を重ねるごとに普及してきている。また、例年実施している「トレッキング」教室や「サイクリング」教室も毎回定員を超える応募者があり、恒例の事業として定着している。 総計5回、参加のべ人数366人							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	各事業の参加者から、イベント終了後には「身体を動かすと気持ちがよい」、「楽しかった」、「これからも何らかの運動を続けていきたい」などの声が聞かれ、スポーツが各人にとって身近なものになるきっかけづくりができた。							
今年度の活動計画	引き続き実施する恒例のスポーツイベントに加え、主に高齢者を対象にしたフロアカーリングの「出前講座」を実施し、一人でも多くの方にフロアカーリングを体験してもらえるよう取り組む。また、イベントへの新たな参加者を見込めるよう、スポーツ推進委員が、それぞれの地域で「スポーツの楽しさ」を伝える活動を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	豊能地域生涯スポーツ振興事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	03	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
大事業名	100601	豊能地域生涯スポーツ振興事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	生涯にわたりスポーツをより身近なものに感じてもらえるよう、各種スポーツイベントを実施し、そのきっかけづくりに寄与する。						
成果指標	箕面森町妙見山麓マラソン大会の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,200	1,200	1,200
		実績値		500	1,395		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度		
	事業費総額	決算 684千円	予算 900千円	見込 900千円	うち特定財源	決算 0千円	予算 0千円
計画期間	○		○		○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	回を重ねるたびにエントリー数も増え、第4回大会は箕面市から637名、豊能町から272名、遠方からは神奈川県、埼玉県、東京都から総勢1,571名ものエントリーがあり、当日は時折雪が舞う中、1,395名のランナーが「大阪ーしんどい」山間部コースを走った。						
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	走ることは、あらゆるスポーツの基本であり、老若男女を問わずすべての人々が自分のペースで手軽に始められる運動である。 箕面森町妙見山麓マラソン大会は、箕面市と連携し、本町や周辺の地理的特性を活かし「大阪ーしんどい」マラソンとして、回を重ねるごとにランナーに確実に定着している。 本大会は、生涯スポーツ推進や運動のきっかけづくりにとどまらず、インターネットでの参加申込みの手法や地域ボランティアの活躍は、本町の知名度アップや地域づくりにも貢献している。						
今年度の活動計画	第5回目を迎える本大会は、昨年度までの経験を活かし、参加者にとってより満足度の高い大会となるよう箕面市と連携し、大会運営を行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	人権啓発推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ 人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	01	人権尊重意識の高揚
大事業名	020701	人権啓発推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町民すべての基本的人権が尊重され、明るく住みよいまちづくりの推進を図る。						
成果指標	人権啓発事業（人権を考える集い・研修会）の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	400	400	400
		実績値		398	380		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算 3,906千円	予算 3,874千円	見込 3,874千円		
	うち特定財源	決算 637千円	予算 637千円	見込 637千円		
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	町民主体の人権啓発推進団体である人権まちづくり協会との連携による啓発活動を行った。 (人権DVD上映, 研修会, 人権を考える集い, 映画会, 施設見学会など) その他、生活・人権相談、人権問題審議会の開催（3回）					
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	町民主体の人権啓発推進団体である人権まちづくり協会との連携による啓発活動により、事業の参加者はもとより、まちづくり協会の推進員自体のさらなる人権意識高揚が図れた。					
今年度の活動計画	町民主体の人権啓発推進団体である人権まちづくり協会との連携による啓発活動を行う。 (人権講演会, 研修会, 人権を考える集い, 映画会, 施設見学会など) その他、生活・人権相談、人権問題審議会の開催（3回予定）					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	ふれあい文化センター
事務事業名	ふれあい文化センター運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	01	人権尊重意識の高揚
大事業名	020702	ふれあい文化センター運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、地域の実態に即した有効、適切な事業を展開し、人権問題の解決を図る。						
成果指標	人権問題学習会の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	40	50	60
		実績値		30	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	317千円		予算	480千円		見込	480千円	
	うち特定財源	決算	255千円		予算	360千円		見込	360千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	人権問題学習の啓発資料等を配布し、その意識の高揚に資することができた。									
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	さまざまな人権問題の解決に向けた取り組みを実施し、問題解決の方法を探ることに大いに役立った。									
今年度の活動計画	人権問題学習会を年内に開催する予定で調整中です。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	ふれあい文化センター
事務事業名	地域交流促進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	01	人権尊重意識の高揚
大事業名	020702	地域交流促進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	館施設を活用し、教養文化活動等の事業を行い地域住民等の交流促進を図る。						
成果指標	地域交流のための講座の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	60	70	80
		実績値		50	33		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	670千円		予算	708千円		見込	708千円	
	うち特定財源	決算	670千円		予算	706千円		見込	706千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	絵画教室12回延127人 生花教室24回延139人 茶道教室24回延134人 書道教室12回延144人の参加実績があった。									
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	生花・茶道・絵画・書道の各教室を開催し地域住民との地域交流を促進することが出来た。									
今年度の活動計画	今年度の引き続き交流を促進し、当初の目的達成を図る。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	男女共同参画事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ 人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	02	男女共同参画社会の形成
大事業名	020701	男女共同参画事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	男女の個人の尊厳を重んじ、男性も女性もひとりの人間として能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る。						
成果指標	フォーラムやセミナーの参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	270	270	270
		実績値		270	256		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算 659千円	予算 651千円	見込 651千円		
	うち特定財源	決算 510千円	予算 400千円	見込 400千円		
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>○ふれあいフォーラム 開催日：平成24年3月3日。講師：菊地幸夫（弁護士）「出会いの人生から学んだこと」。参加者：210名。男女参画及び退職後の地域活動（生涯学習）の観点から実施。地域社会における居場所があり、人との関わりにより生きがいとなることを学んだ。</p> <p>○男と女のセミナー 開催日：平成23年11月10日・17日・24日。講師：椿本玲子（心理カウンセラー）「コミュニケーションスキル講座」～私もあなたも大切にする自己表現・アサーションを学ぼう～ 参加者：延べ46名。女性と男性の生き方について考えるとともに、自尊感情を高め「自分も大切に、相手も大切にする」ことを学んだ。</p>					
前年度の活動成果 【どのような効果をもたらしたのか】	女性と男性の生き方について考えるとともに、自尊感情を高め「自分も大切に、相手も大切にする」ことを学んだ。また、地域社会における居場所があり、人との関わりにより生きがいとなることを学んだ。					
今年度の活動計画	<p>○ふれあいフォーラム 開催日：平成25年2月23日。講師：ダニエル・カールさん（タレント・山形弁研究家）「がんばっぺ、オラの大好きな日本」。男女参画及び人間の絆・家族の絆（生涯学習）の観点から実施。</p> <p>○男と女のセミナー：未定</p>					